

専門分科会(9月1日開催)における意見に対する市の考え方

項目	No.	委員意見	市の考え方
全体	1	計画をスリム化したのだから、より最善な使われ方やメリットをアピールすべきである。	たくさんの市民に手に取って読んでもらえるようにスリム化した。また、別冊資料とすることで実績値等を更新し、計画の進捗確認が行いやすくなる等のメリットがあると考えている。 そういった点をアピールしていきたい。
全体	2	総合支援のネットワーク、包括的な支援体制及び包括的な相談支援体制など言葉の使い方、関係性はどうか。	計画を策定する中で、包括的な支援体制の構築を推進していく。そのための基本目標の1つとして総合的支援のネットワークの構築を掲げ、その具体的施策の1つとして包括的な相談支援体制の構築を行っていくということである。
ネットワーク図	3	ネットワークのイメージ図だが、地域づくりの視点、福祉の土壌づくりの視点が欠けているのではないか。	ネットワークのイメージ図について、支援が必要な方への総合的支援のネットワーク図としてお示ししている。各機関がそれぞれの役割の中で課題を抱えた人を掘り起こし、適切な支援に結びつけられるよう連携していくイメージで作成している。地域づくりの視点やCSWの役割等については、詳細をコラム等で改めて記載していく予定である。
ネットワーク図	4	ネットワークのイメージ図だが、CSWと支援を要する個人・世帯がつながっているように感じない。CSWは個別支援、地域支援をやっている。わかりにくい。同時かつ一体的に丸ごとアセスメントしないと、リスクが出てくる。	
ネットワーク図	5	相談した際に、ひとつの室が受け止め、あちこちに行くことはないようになるのか。	たらい回しの状態にならないようにしないといけない。ワンストップの窓口をやっている自治体もあるが、それが今の時代に合っているのか検証が必要である。どこの窓口に行っても、そこでスムーズに適切な機関につなげていくことが大事であり、計画策定によりその考え方がしっかりと浸透していくようにしなければならない。
評価指標	6	あるべき目標値の達成に向け、書き方、進め方、わかりやすさというところを努力してもらいたい。	計画推進の指標となるべき評価指標を設定し、目標値を掲げている。今後、計画の進捗管理を行う中で、達成に向けどのように取り組んでいるのか、今後の取組の方向性や評価結果などを、わかりやすく説明していきたい。
コラム	7	コラムの内容であるが、活動の紹介は読んでみて、自分たちもできる、やってみたいと思うような書き方を工夫してほしい。	意見を参考にして、各所管に依頼していく。